

あけましておめでとうになります。



〔渉外担当〕 (副支店長) (支店長)



〔金融担当〕



〔共済担当〕

あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。組合員の皆様、地域の皆様から旧年中に賜りましたご支援・ご協力に対して、厚くお礼申し上げます。  
新しい年を迎えて、組合員の皆様やJAをご利用いただくすべてのお客様から信頼され、心地よく安心してご利用いただける十四山支店となるよう、役員一丸となり努力して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

クリスマスイベント開催

12月24日、十四山支店にご来店いただいたお客様にポイントセリアをプレゼントさせていただきました。皆さまから大変ご好評をいただきました。今後も、このような企画を開催して参ります。



■冬の定期貯金キャンペーンを実施中です。(二月末まで)  
なお、二月に抽選会を予定しています。当選番号等は、ホームページもしくは店頭にて発表いたします。お楽しみに。  
■十四山支店エントランスにて、毎月、作品展を開催しています。支店にお越しの際は、ぜひご覧ください。





### 2月4日 冬の定期貯金キャンペーン農業応援抽選会！！



2月4日、十四山地区役員である服部武雄監事、児玉学理事をお迎えして、冬の定期貯金キャンペーン特別企画である農業応援チケット抽選会を行いました。厳正なる抽選の結果、総勢77名の皆様が当選されました。当選番号は支店にて掲示するとともに順次、ご本人様にも連絡させていただきます。

なお、定期貯金キャンペーンは、1月末をもって終了いたしました。多くの皆さまにご来店いただきました。ありがとうございます。

### インフルエンザに用心

インフルエンザが流行っています。皆さんはどんな対策をしていますか？

有効な予防策として、予防接種を受けることや人混みや繁華街への外出を控えること、外出後の手洗いの徹底、適度な湿度の保持と十分な休養、バランスのとれた栄養摂取が感染予防に有効とのことです。

インフルエンザを発症してしまうと多くの場合、一週間程度で回復しますが、なかには肺炎や脳症などの重い合併症が現れ、入院治療を必要とする人もいるそうです。特に高齢者や糖尿病などの基礎疾患のある人では重症化する可能性が高いと考えられています。

まだまだ寒い日が続きます。どうぞご自愛下さい。

ボク、れんたろう  
うがい、手洗い忘れずに



### 今月のエントランス展示

2月は、パッチワーク作品の展示となります。



先月の書道展の様子です。

### 編集後記

コロナウイルスがじわりと広がっていますね。電車に乗ってもデパートに行っても、ほとんどの人がマスクをしていて、その着用率はいつもの年と比べてもかなり多いような気がします。インフルエンザとともにこちらも気になる場所ですね。

(編集発行人)





**限定発売！ローソンとあまイチゴ組合のコラボ**

2月18日、あまイチゴ組合のイチゴ「ゆめのか」はコンピニエンスストアのローソンとコラボして、サンドイッチ・デザート（ミルクプリン）・カップフルーツを発売しました。これらが販売されている店舗は東海四県、北陸三県のローソン店舗約1600店（ローソンストア100を除く）です。

サンドイッチ・デザート（ミルクプリン）については3月2日までの販売でしたが、カップフルーツについては3月30日まで販売しております。ローソンに行かれた際は是非お買い求め下さい。



**新型コロナウイルスにご注意を**

新型コロナウイルスが今ニュースでよく話にあがっていますね。

新型コロナウイルスは、発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、なかには重度急性呼吸器症候群（SARS）など、重症化するウイルスが含まれている場合があるようです。

皆さん、新型コロナウイルスを予防するためにはどんな対策をしていますか？

石鹸やアルコール消毒液による手洗い・帰宅時のがい・マスク等による、せきやくしゃみの予防が効果的です。

ちなみに、せきやくしゃみを手で防ぐ方がいますが、その手でドアノブやつり革、照明のスイッチなどをさわるとウイルスが付着してしまいます。せきやくしゃみは、ハンカチや袖、肘の内側を使って口や鼻を押さえると、よいかと思います。

先日、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えこむべく政府からは、小中高校の休校が要請されましたね。拡大阻止のため、みんなで力を合わせてがんばりましょう。支店窓口にもアルコール消毒剤を用意してあります。

**編集後記**

スマイル通信は、バックナンバーも含めてJAあいち海部のホームページからもご覧いただけます。お時間があれば、スマホやパソコンからのぞいてみてくださいね。



＝チラから  
ご覧になれます。

（編集発行人）



# スマイル通信

あいち海部農業協同組合  
十四山支店 (Tel. 52-2116)

### 春の人事異動による新職員のご紹介

地域の皆様へ』 支店長 佐野豊治

桜の花も満開となり、新年度が始まったところですが、新型コロナウイルスの感染拡大は留まることを知らず、未だにその収束の兆しすら見えません。私どもは、感染拡大防止のため、店舗の入口に消毒用アルコールを設置し、施設内の換気を随時行っています。施設内に風が吹き込む等、ご利用の皆様にはご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

私どもは、笑顔にあふれた親しみのある明るい店舗づくりを目指し、組合員様を始めとしてJAをご利用いただくすべての皆様が安心して心地よくご利用いただけるよう、職員一同、努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。なお、当店舗には、新年度の人事異動により3名の新しい仲間が加わり、4名が異動いたしました。下記の通りご紹介させていただきます。



〈副支店長〉：加藤 弘  
永和支店より赴任して参りました。ここまで培った経験を活かし皆様のお役に立てるよう日々邁進いたしますので、何卒よろしくお願い致します。

〈渉外担当〉：杉本寛治  
蟹江支店から異動いたしました。十四山支店管内の組合員様やJAをご利用いただく皆様の力となれるよう一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



〈渉外担当〉 村瀬勝之  
蟹江支店より異動になりました。蟹江支店では共済窓口を2年間担当させていただきました。皆様のお手伝いができるよう頑張ってお参りますので、よろしくお願い致します。



れんたろうです。



どうぞよろしく

### 編集後記

新型コロナウイルスの集団感染拡大防止のため、換気の悪い密閉空間、多数が集まる密接場所、間近で会話や発声を伴う密接場面、これら三つの「密」を避けることが大切だと言われていますね。できるかぎりの対策をしていきたいと思っております。

(編集発行人)

### お世話になりました。転出職員のご紹介



大崎恵香

弥富支店へ



中島三千代

市江支店へ



犬飼喜助

本店共済課へ



松井正伸

永和支店へ



渉外担当よりごあいさつ申し上げます。

みなさんこんにちは。私たち3名で十四山地区を担当しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止措置対応により、新年度早々から皆様にお目にかかる機会が少なくなっていますことをお詫び申し上げます。私たちのことを少しでも身近に感じていただけたらと思い、自己紹介させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



村瀬勝之  
〔担当地区〕  
子宝、竹田、上押萩、下押萩、亀ヶ地、海屋、西規、東規、四郎兵衛

蟹江支店にて二年間共済窓口を担当しておりました村瀬と申します。金融の知識については猛勉強中ではありますが、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしく願います。  
休日は、今年、小学校に入学したばかりの妹と遊んだり、ゴルフの練習をしたりしてすごしています。最近では新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか外出もできませんが、今が耐え時だと思えますので、皆さん頑張らしましょう。



杉本寛治  
〔担当地区〕  
五斗山、鍋平、三百島、坂中地、鮫ヶ地、馬ヶ地、善太町、佐古木

令和二年四月からこの地区を担当させていただきます。杉本寛治です。  
農協に入組してから七年目になります。趣味は野球で、農協の野球部に所属して色々な職員の方と交流しながら活動しています。  
ただいま減量に取り組んでおり、皆さんに「写真と違うね」と言っていただけのように頑張ります。改めてよろしくお願いいたします。



小塚悟史リーダー  
〔担当地区〕  
神戸、梓場、鳥ヶ地、六條

前年度に引き続き、同地区を担当させていただきます。  
最近では新型コロナウイルスの影響もあり、休日はどこにも行けないので、庭の草取りが趣味になっています。草がなくなりきれいになると気持ちが良いですね。  
今年度も多くの組合員の皆様方に携われるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



共済担当の戸森信行が、エントランス左側エリアで手塩にかけて育てているイチゴです。真っ赤に実り始めました。



咲き誇ったノースポールの可憐な白い花が、皆様をお迎えます。共済担当、杉浦和徳のセンスが光ります。

〔編集後記〕  
何か大きな出来事を契機として、日々の生活や価値観が一変することがあります。今回、新型コロナウイルス禍によって、私たちの生活が一変しました。新学期が始まって、子ども達は学校に通うことができず、人生の門出を祝う大切な結婚式も、旅行やショッピング、親睦会や歓迎会など、私たちの身の回りのあらゆるシーンに大きな影響を及ぼしています。今までの何気ない日々が、どんなにか大切でかけがえのないものだったかを痛感します。我慢の日々が続きますが、あと一頑張りです。皆で力を合わせて、この難局を乗り切っていきましょう。〔編集発行人〕



木村画伯の本日も晴天なり

十四山支店の画伯といえは、木村幸恵さんです。大好きなミニオンスをちぎり絵で書き起こして、雨の日限定、タオルサービスの案内ポルトを作成しています。生まれ育った子宝にある十四山支店に勤務して三年目。



(右) この春、妹が小学校に入ったばかりの渉外担当村瀬勝之と木村画伯です。

(上) 黙々と作業に取り組む木村画伯です

夏の花を植えました

若草会の皆さんにポーチュラカを植えていただきました。ありがとうございます。心からお礼申し上げます。夏が楽しみです。



(上) 支店の花壇に植えています。

(左) 皆さん、お疲れさまでした。



〔編集後記〕「しあわせのものさし」

古い写真立ての中で父が笑っています。父の腕の中では、生後間もない私も一緒に笑っています。恐らく当時住んでいた災害用仮設小屋の前で母が撮影したのでしょう。父はその数年前、伊勢湾台風の高波によって、子ども4名を含む家族全員を亡くしていました。堤防に引っ掛かり奇跡的に助かった父は、ヘリで名古屋国立病院へ救急搬送されました。その年の暮れ、退院して数か月ぶりに自宅跡地に降り立った父の気持ちを想うと、今でも胸が詰まります。その後、父は母と再婚し、私と妹が生まれました。

書道家相田みつおに「しあわせは自分の心がきめる」という書があります。初めてこの書を見たとき、私は父のことを思い出しました。

幸せになるといふのは、お金持ちになつていい暮らしをすることはありません。幸せになるといふのは、幸せとを感じる「ものさし」を見つけることだと思えます。人によってその「ものさし」は違いますが、父にとつては、家族の笑顔が幸せとを感じる「ものさし」だったのでろうなと思います。

その後、妹が嫁ぎ、私にも家族ができ、父と母はそれを見届けるように、皆が待つ大空に帰っていきました。

家族と過ごしたかけがえのない日々は、いつか必ず思い出に変わっていきます。心をともにした日々や共有した出来事は、親から子への大切な贈り物です。だからこそ、笑顔を決やさず、毎日を大切に紡いでいきたいと思えます。

〔編集発行人〕



花壇日記

新型コロナウイルスの感染拡大は留まることを知らず、まだまだその収束には時間がかかりそうです。マスクの着用や手洗いを徹底して感染を防ぎましょう。

当店舖においても、換気を徹底しながら窓口には感染防止シールドの設置を始めとして、アルコール消毒剤を準備しています。ぜひご利用下さい。

コロナ禍により、年金友の会旅行を始めとして、機関車トーマスツアー、JAまつりなど、毎年行っている様々な催しも、ほとんどが中止となってしまいました。何卒ご理解賜りたく存じます。

十四山支店では、丹精こめて手入れしている色とりどりの寄せ植えが満開となりました。ご来店の際、ぜひご覧下さい。また、店舗周囲の花壇にもマリーゴールドを始めとしてホーチュラカの花弁が大きくなって参りました。こちらも合わせてご覧下さい。



庭師の杉さん、杉浦和徳です。



ご存じ、画伯の木村幸恵です。



日頃の手入れが欠かせません。



手前の青い花卉の花は、竹田の三輪保清さんからいただいたノボタンです。三輪さん、いつもありがとうございます。

(編集後記)

「勉強しないとあんな風になるわよ。」制服を着た女の子の横には、お母さんらしき女性が立っていました。どうやら模試の結果が思わしくなく、「このままでは希望する大学に合格できない」と伝えているようでした。ふいに私の背後から聞こえたその女性の言葉は、信守待ちをしていたおびただしい人の群れにかき消されました。横断歩道を渡り切ったところで、私は黙々と水道管の埋設作業をしている若い作業員に気づきました。汗で濡れ出したその分厚い胸板は泥にまみれ、右腕には大きな傷跡がありました。私は、あの母親はきっと彼のことを話していたのだろうなと思いました。そして、帰宅途中ずっと心がざわついていました。

職業に優劣はありません。皆、自分の仕事に誇りを持ち、大切な家族を懸命に支えています。私は、偏見を持ったお母さんのせいで、その女の子は、人を外観や先入観で判断するような人にならないだろうかとずっと考えていました。別の日、私は喫茶店で人を待っていました。

「お母さん、あの人、何やってるの?」若いお母さんに連れられた小さな女の子が、隣のテーブルで何か聞いたようでした。大きな窓ガラス越しに、下水管を入れ替える作業員が見えました。

「トイレの水が流れるようにしてくれているのよ。掃りにありがとって言いますよ。うね」女の子は嬉しそうに頷いていました。この女の子は、いいお母さんに育てられて幸せになれるだろうなと思っていました。見上げると澄み渡った青空が広がっていました。

(編集発行人)





## 渉外リーダー 小塚悟史



人工授精士の資格を持つ県立農業大学卒の小塚です。特に牛の授精はまかせて下さい。休みの日は、よく山に出かけて行きます。山の中で緑の木々を眺めていると心が落ち着き、明日への力がみなぎってくるのがわかります。こんなご時世なのであまり遠出はできないので、なるべく近場の山に行きたいと思います。暑い季節が続きますが、新型コロナに感染しないよう、させないよう細心の注意で頑張ります。

## 共済窓口 木村幸恵



休みの日は家でゆっくりと過ごしています。そして、クックパッドを見ながら家族で料理を作ったりします。梅雨明けと同時に暑い日々が始まりました。暑さと新型コロナに負けないよう、頑張ります。

## コロナ禍に負けない、それぞれの暑い夏。

今年の春、小学校に入学したばかりの妹がいます。妹は、新型コロナの影響で新たな小学校生活の出鼻をくじかれましたが、YouTubeやTVを見て、歌をうたうことを覚えました。おかげで、いつも踊って跳ねて元気いっぱいです。私も、妹からパワーをもらって、暑い夏に負けないよう、そして新型コロナ禍に負けないよう、頑張っています。皆さんが暑い夏を乗り越えることができますように。



## 渉外 村瀬勝之

走り屋向きのクルマに乗ってますが、普段から安全運転です。ご安心下さい。



## 渉外 杉本寛治

新型コロナの感染拡大はなかなか収まりませんね。普段から密集、密接、密閉の「3密」に身を置かないよう、そしてそんな環境をつくらないように、細心の注意をもって暑い夏を乗り切りたいと思います。

〔編集後記〕  
「それは、中が透けて見れるってことか。すごいことだな」玄関から断片的に聞こえてきた父の言葉で目が覚めた私は、夏休みのラジオ体操から戻って、そのまま廊下で寝てしまっていたことに気づきました。当時、電話はすべてダイヤル式の黒色で、黒電話はこの家庭にもない。玄関にありました。私は、熱い味噌汁から立ち昇る湯気の向こうで何やら熱心に話をしてる父と母を見ながら、卵かけご飯を口にしていたところでした。ちょうどラジオから当時ヒットしていたビートルズの曲が流れていました。  
「そうなんだよ、このビートルズのおかげらしい」暖かいご飯に納豆を載せた父が、母に言いました。「レントゲンとコンピューターを融合して人間を輪切りにできる機械ができたらしい」それを聞いて幼い私は、思わず箸を止めました。「え、人間を輪切りにするの？」  
「いや、輪切りにした写真が撮れるらしい。」幼いながらこれはすごいことなんだなと思いましたが、旧陸軍で医師として中国で終戦を迎えた父は、帰国した仲間が開業する中、医師の道を進みませんでした。医師仲間とのつながりは終生続いていました。恐らくあの電話は、医師仲間と話していたのだらうと思います。  
患者からの主訴を聞いて確定診断するのは、体の中は外から見えないだけに難しかったようです。当時、イギリスではビートルズで得た資金で社会貢献活動を模索していたEMM(イーエムアイ)が、莫大な資金を提供してCT(コンピュータ断層撮影装置)の開発を後押ししたようです。ノーベル賞は、普通、独創的な発明にしか与えられませんが、CTだけは例外でした。暑い夏を迎えるたび、幼い頃に廊下で聞いていた、普段は目にしない、父の医師としての顔を思い出します。  
(編集発行人)



## 子宝駐在所でロングインタビュー

幼い頃、憧れていたものは何ですか。男子ならば、それはプロ野球やサッカー選手だったり、パイロットだったり。どれも自分にとっては憧れのカッコいいヒーロー。

六人兄弟の長男として浜松で生まれた丹羽少年が幼い頃から憧れていたのは、お巡りさんになることでした。刑事ドラマが大好きだった丹羽少年は、小学校の卒業文集にすでに将来は絶対に警察官になるんだと綴っていました。憧れの警察官になって35年。丹羽愛武(よしただけ)巡査部長は、子宝駐在所で当時の想いを熱く語り始めました。警察官となって最初の赴任地は刈谷署でした。その後、機動隊、西枇杷島署、名古屋空港署、中署、中川署、西署、津島署、中村署と県内各署を巡り、途中、県警本部勤務を経て三年前に子宝駐在所に赴任となりました。



子宝駐在所の丹羽愛武(よしただけ)巡査部長です。本日もお勤めご苦労様です。



忙しいところ、ありがとうございました。インタビュー後に自撮りでパチリ。編集発行人の佐野も一緒にしました。

「駐在所って言うのは、基本、日勤なんです。夜勤はないけど、後ろの官舎に住んでますけどね」警察官というのは、昼夜の別もない、見ただけで大変な仕事だなと思いました。

警察官として一番印象に残ることは、目の前で起きたひどく取り犯を取り押さえたこと、怪しいと思って職務質問したら大麻を所持していたことだそうです。この二つは自慢できます、そうきっぱり言うと、丹羽さんは美味しそうにサイダーをぐっと飲み干しました。

「長男だったのに家をばっとうてしまつて。でも親父は最期まで、そのことは何も言わなかったなあ。介護とか大変だったけれど、かけがえない両親でしたから。」

昨年亡くなった父親の後を追うように、その三か月後、母親も亡くなったそうです。

趣味はランニング。早朝5時から三又池公園の中を走りますが、同じところをグルグル回るのは好きではなく、そのまま公園の外に出て行きます。最近、管内では特殊詐欺が増えていて、この間も少額訴訟の変な封書が届いたと、何名かの方から問い合わせを受けたとのこと。皆さん、気をつけましょう。地域のために体を張って頑張っている丹羽さん、これからもどうぞよろしくお願いします。姿を見かけたら、ぜひ「よしただけさん」と声をかけてあげてください。

(取材日 8月25日)

## 〔編集後記〕「風の電話」

「これから風雨がどんどん強くなるかも知れないから気をつけてな」父はそう言い残すと、嵐の中を近所に住む弟の家へと急ぎました。弟から頼まれていたものを届け、家に戻ろうとした父は、暗闇の中、足元に冷たいものを感じました。堤防が決壊したのです。飛んできた木材の直撃を受け気絶した父は、そのまま倒壊した弟の家ごと暴風雨の間に流されていきました。翌朝、父は気を失ったまま堤防に引っ掛かっているところを救助され、骨折している体を引きずりながら四人の子ともと妻、母親が待つ自宅に向かいました。自宅跡地には、茶碗のかけらが朝日に光っていました。父は、変わり果てた六名全員を堤防の上で茶毘に付しました。「気をつけてな」と言い残し、すぐ戻るつもりで弟の家に行つたばかりに、大切な妻や子どもたちを守れなかったことを父は終生、心にとめていました。毎年、伊勢湾台風が来るたび、父のことを思い出します。

「風の電話」を知っていますか。若手県大槌町の海を見下ろす丘にそれはあります。白い電話ボックスの中には、黒電話と一冊のノート。大切な人を失くして悲しみを抱いた人たちが訪れ、線のつながっていない電話であふれる想いを伝えていきます。悲しみは消えないけれど、伝えたいことを話すことで前を向くことができるのだらうと思います。時をさかのぼることができたら、父もこの電話で天国にいる家族に想いを伝えていたと思います。

(編集発行人)





海拔ゼロメートルのお話

支店駐車場の片隅にある海拔ゼロメートル表示板を見るたびに、ここは海面よりも低い場所なんだなと改めて思います。普段の生活では、そんなことは何も感じないだけになおさらです。

十四山支店は、頑丈な鉄筋コンクリート構造のため、弥富市から万一の時の避難場所(三次開設避難所)に指定されています。また、飲み水の簡易浄化装置や若干の災害用備品を準備しています。



車の屋根がちょうど海拔ゼロメートル。普段は意識しないけれど、この表示を見て地面の低さにびっくりです。



濁水に浮かぶ十四山東部小学校です。→支店ロビーで開催中の伊勢湾台風写真展より。(10月16日まで)

編集後記

「大企業にいるからいい仕事ができるわけじゃない。どんな会社においても、どんな仕事をしていても、自分の仕事にプライドを持って日々奮闘し、達成感を得ている人のことを本当の勝ち組というんじゃないか」

とても心を打つ言葉でした。テレビを観ていて思わずハッとしました。これは、毎週、楽しみにしていた日曜ドラマ「半沢直樹」の中で、東京中央銀行に戻るようになった半沢が古巣である東京セントラル証券の仲間たち全員の前で行ったスピーチです。「記憶されている方も多いかと思えます。」

大きな組織に所属していることがすべてではありません。大切なのは自分自身の達成感、充実感を高めることだと思います。今現在、自分が置かれた場所で努力を重ねていくことも大切です。

以前、この編集後記にて炎天下の中、下水道工事を黙々とこなしている作業員のことをお伝えしたことがありましたが、私はテレビを見ながら彼の屈強な後ろ姿を重ねていました。

誠実に、そして自分に誇りを持って努力を重ねること、これは仕事への日々の取り組み姿勢、心意気にも通じることだと思います。

(編集発行人)



支店の南側の花壇では秋の花が満開となりました





## スタントマンによる自転車安全教室

11月2日、蟹江警察署の指導のもと、県立海翔高校にて自転車交通安全教室を開催しました。

私たちは、通学や日常生活において自転車の利用頻度が高い中高生の皆さんに、自転車交通事故の危険性を理解していただくという趣旨でこの教室を開いています。本来ならば、海翔高校のグラウンドにて本物の自動車を使ってスタントマンによる自転車飛び出し事故を再現していただく予定でしたが、当日はあいにくの雨模様であったことから、体育館の中での再現となりました。それでも、プロのスタントマンによる事故の再現は迫力満点。

海翔高校の生徒さんたちは、自転車交通事故の怖さを肌で感じていただくことで、不注意による自転車交通事故を防ぐための参考になったかと思えます。



路地からの飛び出しにより自転車と激突する様子を再現するスタントマン。



歩道を後ろから走り抜けようとして歩行者と激突する様子を再現するスタントマン。演技とは言え、ケガはしないのかと心配になりました。



海翔高校 315 名の生徒さんを前にあいさつをさせていただきました。ちょうど「内輪差」の説明をしているところです。



スタントマンがクルマに見立てた跳び箱に激突する様子。間近で見えていましたが、かなりの迫力でした。この後、スタントマンは高く飛んで、床にたたきつけられました。

(編集後記)

「青い空とおにぎりのじゅ」

真っ青に晴れ渡った高い空を見上げると、白くて大きな雲が浮かんでいました。左右に広がる田畑や時々現れる家屋が前から後ろに流れていきます。暑い夏が過ぎ、いくつかの台風が通りすぎて季節がぐっと涼しくなった頃、稲刈りが始まります。父は、母と幼い兄妹を小舟に乗せて稲刈りに向かいます。土地改良前の広大な田園地帯には、小川(ウリーク)が網の目のように流れていました。大量の米を一度に運搬するため、父は竿一本で重い小舟を操っていました。幼い私は、大きな梅干しの入った、海苔で巻いた母の作るおにぎりを頬張りながら、そうして左右に流れていく景色を見るのが大好きでした。私は、5メートルほどの長さの小舟の前や後ろを行ったり来たり、時折、米袋の上に寝転がっては、高い空を見上げていました。

いつも歩いて渡る橋の下を通る時は、普段は見えない橋の下が見えるので不思議な気分でした。小舟から見える両岸は目線よりも上で、そこを猫が歩いていたりしました。暑い夏が過ぎると始まる稲刈りは、幼い私の心をわくわくさせました。

(編集発行人)



### 最近〇〇しました



涉外 村瀬勝之

最近、実家を出て新しい生活を始めました。新しきことはよきことかな、ですね。寒さに負けずがんばっていきましょう。



窓口 杉浦和徳

最近、ゴルフで90を切りました。筋トレをしていますが、腹筋をやりすぎてバキバキの筋肉痛になりました。



涉外 小塚悟史

最近、人間ドックで太りすぎと指摘されました。頑張って運動します。ご飯がとても美味しく食べてるのが楽しみです。



窓口 木村幸恵

最近、冷蔵庫を買いました。中がすごく広くてよく冷えます。何でもそうですが、新しいものはいいですね。

共済と涉外担当が  
ツイートします。



大輪の真っ赤なポインセチアです。今回も竹田の三輪保清さんからいただきました。三輪さん、いつもありがとうございます。



傘から下に伸びている棒の先は、周りが暗くなると明かりがともります。



支店の敷地の北東に何やら変わった装置が置かれています。これは県農業試験場が設置している害虫計数器です。カメムシなど、光に寄って来る害虫を捕らえて寸胴型の入れ物に誘き入れて、その数を計測しています。

### さてこれは何でしょう？

### 編集後記

新型コロナウイルスはその収束の兆しすら見えず、マスク生活も気が付けばあたりまえの、ごく普通の日常のことになりました。

先日、何年か前のコブクロの東京ドームを満員にしたコンサートビデオを見る機会がありました。あれ？すごく密になってるなと、新型コロナウイルスでなければ考えもしなかった疑問を持っていることに気づいて、「wowwow、昔はじつだったな」と自分でも驚いているところです。

「密であること」をこんなに意識するようになって、実はまだ一年も経っていないと思うと、とても驚きます。そのどれもが、それまで気にもしなかったことなのに。

気のおけない仲間たちとの飲み会も、ホールがぎっしり埋まったコンサートも、満員のバスで巡る温泉ツアーも、今まで当たり前を楽しんできたことが何一つ思い通りにできなくなりました。

誰しも、今まであったものがなくなって初めて、その大切さに気づきます。ケガや病気もなく、家族に囲まれた笑顔あふれる何気ない毎日が、実はどんなに幸せで大切なことか、そしてありふれた毎日に感謝して、日々すこしていくことの大切さをこの新型コロナウイルスで気づかされたような気がします。

今年も残すところあとわずか。来年こそ、今までの毎日に少しでも近づける年となりますように。

編集発行人